

【H29年度】普及啓発活動

■3カ年のスケジュール

項目	平成29年度	平成30年度	平成31年度
ワークショップ(WS)の開催	気候変動影響評価事例調べWS(和歌山県)	地球温暖化防止センター及び推進員を対象とした普及啓発共通ツール(プログラム等)試行WS	センター及び推進員等普及啓発共通ツール活用研修WS
コミュニケーションツールの作成	検討会の開催、近畿地域における普及啓発ツール(リーフレット、パワーポイント、プログラム等)素案の作成	普及啓発共通ツール試行WSを受けた改善(WSプログラム、パワーポイント、リーフレット)	今後の展開に向けた検討
適応に関する企業研究会	テーマ:①企業経営方針、②適応リスク管理、③適応ビジネスチャンス	テーマ:適応リスク管理・適応ビジネスチャンスなど	報告会

■今年度の活動結果

●ワークショップ(WS)の開催

*和歌山県・和歌山市、和歌山県地球温暖化防止活動推進センターと連携・協力のもと開催

概要	実施内容・結果	課題/来年度の予定
日時:第1回12/16、第2回2/10 場所:和歌山市内 参加者:地球温暖化防止活動推進員、1次産業従事者等 参加人数:第1回26名、第2回23名	第1回:気候変動と適応についての講義(和歌山地方気象台、株式会社地域計画建築研究所(アルバック))、地域からの話題提供(紀ノ川農協、和歌浦漁協)、参加者による感想共有 第2回:地域からの話題提供(和歌山県うめ研究所)、参加者によるグループワーク(気候変動影響事例の共有、適応策の提案)	・気候変動と適応についての普及啓発と理解促進が課題 ・来年度は普及啓発ツールの試行のためのWSを実施予定

●コミュニケーションツールの作成

*検討会を開催し、コミュニケーションツールについて検討

概要	実施内容・結果	課題/来年度の予定
日時:第1回12/26、第2回2/27 場所:大阪市内 参加者:6府県の地球温暖化防止活動推進センター 参加人数:第1回16名、第2回16名	第1回:学びのデザインについての勉強会(龍谷大学講師・シズンシップ共育企画代表/川中大輔氏)、学びのプログラムとゴールのデザインについて意見交換 第2回:ビジュアルコミュニケーションデザインについての勉強会(京都市立芸大学准教授/舟越一郎氏)、使いやすい、伝えやすいツールの構成・デザインについて意見交換	・地域で展開していく上でターゲットと活用場面の設定、それに応じた使えるツールが必要。 ・来年度はWSでの試行を通してツールの改善などを実施予定

●適応に関する企業研究会

*参加企業:池田泉州銀行、いずみの農業協同組合、NTTスマイルエナジー、大阪ガス、オリックスファミリーーズ、関西電力、生活協同組合コブこうべ、積水ハウス、大和ハウス工業、竹中工務店、南海電鉄、ニホン、乃村工芸社、日立製作所、りそな銀行

概要	実施内容・結果	課題/来年度の予定
日時:第1回1/15、第2回3/8 場所:大阪市内 参画企業:14企業 参加人数:第1回23名、第2回23名	<ul style="list-style-type: none"> ・話題提供・意見交換を通じた情報共有と理解促進 ・話題提供者:第1回は環境省及び経産省、第2回は参加企業 ・①企業経営方針、②適応リスク管理、③適応ビジネスチャンスについて、意見交換 	来年度も継続開催し、適応策の取組事例等の情報共有や意見交換を通して、事業者の理解促進や今後の推進方策の検討等を実施予定